

広報 いまり

No. 356



スポーツの秋

澄んだ大空の下
沸きあがる歓声
小さな体に
大きな力をこめて
赤勝て、白勝て

(山代町ときわ保育園の
運動会から9/18)

'58

10月

災害復旧事業に3億円追加

昭和58年第3回定例市議会

伊万里市議会第3回定例会が、9月6日から22日まで17日間開かれました。今回提出された議案の主なものは一般会計予算のほか、大坪第2小学校屋内運動場新築工事請負契約など、28議案について審議が行われました。

一般質問から

市行政についての基本的な考えを執行部に聞く一般質問は16名の議員から質問がありました。

一般会計補正予算12億2,913万円

農林水産業費4億5,781万円追加。主なものは、東山代地区を対象とした米麦大規模乾燥施設整備1億1,032万円、波多津町田代、中山地区農地造成工事6,474万円、南波多南部梨選果所増設事業補助金2,818万円、黒川町牟田地区暗渠排水事業5,631万円などとなっています。

災害復旧費では、7月の集中豪雨によって被害を受けた施設の早急な復旧を図るため本年度事業として、農地112か所、7,362万円、農業用施設178か所、1億6,515万円、公共土木施設160か所、7,683万円など3億1,560万円を追加しました。土木費では、市道足もとと道路

の改良、舗装、維持補修費2,000万円、市道新設改良5,035万円、八谷搦～上伊万里駅線の街路事業1億2,441万円など2億3,823万円を追加しました。

行政改革の考え方は

58年1月に伊万里市行財政調査会の答申を受けて以来、具体的な実施方法について検討をすすめ、すでに一部は実施してい



進む樹園地造成（波多津町田代地区）

二〇・四％にすぎない。ギャンブルで余裕のあった市は大きな施設をいくつも造り、そのために人件費と管理費がうなぎのぼりに上昇した。

また十年前コンピュータを始めるころは事務改善では同じ線に並んでいたがその後その市では進捗せず伊万里市はそれをやらねば老人施設や保育園、消防施設に人がまわせず、徹底したコンピュータ化をやり民間委託を行って経費の節減に努めてきた。

この自治体にとってもギャンブル収益金は垂れんのであるが、余裕があれば放漫になるのは世の常でその点当市にギャンブルのないのが逆に財政の健全を支えているのかも知れない。しかしまだ百億近いギャンブル収益金はいっている市町村がある。しかも今度の行革でも、調査会も政府も全くノータッチで、その他の面では一率に予算が絞られてくるので格差はいよいよ広がるばかりである。不公平は正されない行革などしよせん国民の信頼はつなげない。

（竹内）

持

ます。7月の人事異動での小さな係の統合、財務会計事務の電算化、民間業者への業務委託など改善合理化を行いました。

これらは今後も引続き改善を図る方針です。

これから改善するものとして検討中のものは、各種補助金の見直し、使用料、手数料の改訂などがあります。使用料、手数料の見直しについては、市民の負担を一律的に増やすことなく、受益者と利用しない者との間の不均衡や料金改定後年数が長くたち現実にそぐわなくなったもの、他市町村の状況を勘案して改訂を図る考えです。

職員についても退職金などの見直しを検討しています。

青少年の非行化対策は

次代を担う青少年の健全育成を図るため、青少年対策室を設置し、青少年健全育成を今後の市政における重点施策として取り組むことにしています。

青少年の非行が、家庭、学校、地域において日常的に発生しています。

家庭においては、親のあり方が問題であり、学校においては

学力重視からくる落ちこぼれの増加、社会的には地域住民関係の希薄化、悪質な環境の増大など、いろいろな問題が提起されています。これらの問題をとらえた根本的な対策が必要であります。そのため、今後の青少年対策の重点として、

- 青少年自らが心身をきたえ、社会への参加を助長するための青少年団体の育成強化
- 親が自信をもって教育ができる家庭環境づくりの推進
- 人の子にも愛の一声をかけ、大人の享樂にあまじた社会環境を改善し、青少年が大きく育



南波多農協では、ワインの特産品づくりに取り組んでいます。写真 大曲の育苗圃で育てられている原料の甲州ぶどうの苗。

つための健全な社会環境づくり
○ 青少年が夢と希望を持てる社会づくり
—を掲げ、積極的に取り組んでいく方針です。

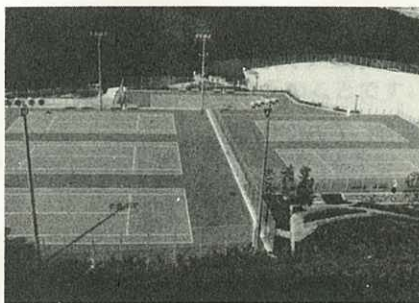
秋の市内施設めぐりを募集

今年度第2回目の「市内施設めぐり」を行います。

今回からオープンした厚生年金休暇センターも加わります。

参加を希望される方は、会費を添えて申し込みください。

- ▲日時 11月10日(金)
 - ▲集合 8時10分市民会館
 - ▲定員 90人
 - ▲会費 2,000円(弁当有)
 - ▲視察地 大川内山、市役所、厚生年金休暇センター、環境センター、名村造船ほか。
- ※市役所秘書課(☎②111内408)



▲休暇センターの運動施設

最近ギャンブルの落ち込みで財政危機を訴えている市町村が多いが、県内のある市では法的な再建団体になる前に自主的に財政を切り詰めようと五十八年から六十二年までの自主財政再建五ヶ年計画を発表された。それによると、職員数や人件費、組織や機構に大なたを振って職員数を標準に近づけ、財政の硬直度を示す経常収支比率を現在の九五・二％から県内七市の平均並みの八五％以下に、ラスパイレスを一一・七から一〇・五に、さらに人件費の構成費を四二・一％から四〇・六％にしようとするものである。



そこでこれとわが伊万里市とを比較すると当市の職員数は自治省の示す標準に合致し、経常収支比率は再建市の五年後の目標八五％よりも低い八一・一％、ラスパイレスは一〇・四・八で人件費の構成比に至っては

市議会 昭和58年10月1日発行 しいま(3) 市役所 秘書課



さわやかな汗

レッツ スポーツ
キャンペーン

流してますか

伊万里市は、昭和52年「体力づくり内閣総理大臣賞」を受賞し、スポーツ都市を宣言しました。あれから6年、市民の意識も見るスポーツから参加するスポーツへ変化し、一市民スポーツ運動へと大きく広がっています。また国見台運動公園には相撲場、大川内町には公認の射撃場も出来ようとしています。各地で行われているスポーツの話題を紹介しながら、スポーツを通じた人づくり、健康づくり、まちづくりを考えてみました。

澄みきった秋空の下、あなたも体を動かしてみませんか。

ゲートボールを教えてね

お年寄りと子供のゲートボール大会が、9月17日大坪公民館で行われました。

これは豊かな心を育てる大坪地区青少年活動の一つとして開かれたもので、小・中学生30人とお年寄り30人が6チーム、5人ずつに分かれ、混合で得点を競いました。

子供たちは、ほとんどが初めてで、お年寄りの手ほどきを受け、和気あいあいの中にも元気な返事や厳しいルールを学びました。

お年寄りの中には「上手かとかば見せんば」と緊張し「今日はなしてんゲートに入らんとやるか」と首をかしげる人も。

それでも子供たちは「上手さあ」とお年寄りの名プレーに感心することしきり。

ゲーム後の感想は「子供たちは慣れるのが早かね。1日で上手になられたら、こっちの楽しみが取られそうで困るよ」とのことです。それでも「今度は婦人会とやろうか」と快気炎もでて楽しい1日だったようです。

国際色も豊かに

マレーシアの名村造船研修生 イスハクさん(28)とアブドラさん(27)が、9月のナイターバドミントン大会に参加。ダブルスでパート3位に入りました。

また、毎日曜、市民会館に集まり10時半から市内を走っている伊万里走ろう会には、ノルウェーから名村造船へ来ているヨハンセンさん(39)とフィルムライトさん(32)も参加しています。

スポーツに国境はありませんが、市民のスポーツも国際色が豊かになってきたものですね。



※年齢に合ったスポーツを
自分流のやり方で

40代

ジョギング/水泳/テニス/ゴルフ/ソフトボール
バドミントン/卓球/ダンス/ボウリング/柔軟体操

ジャズダンスはいかが

地域巡回スポーツ教室では、7月から週1回、3か月にわたりジャズダンス教室を開きました。

東山代小体育館は若い方からまだまだ若い方まで70人ほどの主婦が参加して、文字どおりの若さと熱気がいっぱい。参加者にインタビューしてみました。

——江口文枝さん(52歳)

私は仕事が事務で肩が凝るんですが、すっかりよくなりました。最初は、減量が目的で入ったんですが、お腹がすいてよく食べるんです。

——副島淳子さん(22歳)

なんにもやってなかったんでシェイプアップのために参加しました。目標は5キロ減らすこと。体を動かすと、気持がよくて楽しいですよ。エノ効果は? ご想像にまかせます。

——浦川久美さん(33歳)

体を動かして汗を出して踊ると、なんにもかも忘れて絶好のストレス解消。そうね、家族の協

力やおしゅうとめさんの理解があるからできるんですけど。

——荒木友重さん(48歳)

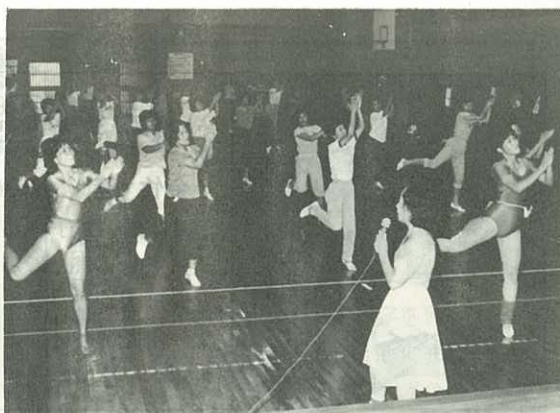
運動不足解消が目的です。1

日1日が楽しみ。主人に教えていっしょに踊りたいですね。

「矢切の渡し」なんかもあるんですよ。

——講師の志藤奈緒美先生は、「フォークダンスやレクダンスを取り入れてますが、みなさん熱心で動きがジャズっぽくなってきました。主婦は社会で輪を広げる場が少ないでしょう。1週間に1度ぐらいは体を動かしてみんな生き生きしてますね。仲間もでき、ストレスも解消し、生活に張りがでて、家庭も明るくなるのではないのでしょうか。

若さと健康には、ジャズダンスが一番です。」とのことでした。



▲若さと熱気がいっぱいのジャズダンス教室

クリースポーツの合言葉

お互いにスポーツをして楽しかったと思う”さわやかマナー”を確立しましょう。

※相手を傷つける野次やば倒はなくそう。

※審判への執ような抗議や非難はやめよう。

※勝敗へのこだわりよりも、参加者同士の思いやりを大切にしよう。

※会場は来たときよりも美しく。

※つくろう仲間を、スポーツで。

ピーコックスが国体出場

8月27、28日熊本で開かれたミニ国体軟式野球で、地元熊本を破った伊万里ピーコックス(代表 日高重幸 以下17名)が、

あかぎ国体に出場します。

ピーコックスは、S40年結成以来、高松宮杯3位をはじめ、全国大会4回の出場を誇ります。

現在は、機動力を生かした守りのチームが特色、平均年齢は29歳で、監督の兼武信博さんを中心に全員野球に徹しています。

なにしろ100メートル11秒台の選手が5人もいるんですから。

1回戦は、10月16日岩手県と。参加28チームの強豪の中でベスト8を目標にしています。

軟式野球の国体出場は、初めての快挙。みんなで応援しましょう。



▲ピーコックスの選手のみなさん

これからのスポーツ

市民スポーツの広がりとは、一時はスポーツ公害といわれる現象さえ引き起こすほどでしたが、今ではゲートボールなど自主的に時間を決め節度を保っています。

これからの市民スポーツは、家族で楽しむファミリースポーツや地域社会でのコミュニティスポーツへと向っています。

スポーツを通じた仲間づくりの輪が、スポーツだけにとどまらず、チームワークの力を社会へ向けることが、一市民スポーツの目指すものです。

“人も町も健康な伊万里”へ向かってあなたもレッツスポーツ。

50代

ジョギング/釣り/散歩/ゴルフ/柔軟体操
テニス/ボウリング/ダンス/ハイキング

60代

散歩/柔軟体操/ゴルフ/ゲートボール
卓球/ハイキング

※ 10月30日9時〜第15回市民体育祭(国見台) 雨天のとき11月6日



★ わが家のPAPA ★

りょう
金竹 遼くん (4か月)
喜久雄、智子さんの長男。
「男らしく、とにかく元気に」
とお母さん。「早く大きくなっ
て一緒に遊びにいこう」とお父
さん。(黒川町名村団地)

ほほえみ ひろは

♣ あなたの手紙

僕と農業

南波多町重橋 井本 稔 (13歳)

僕の住んでいる重橋は、紙作り農家があり、昔は僕の家も紙を作っていたそうです。今、トラックの車庫は、昔、牛がいたのだと祖父が話してくれました。

祖父は今、病気で体が思うように動きません。でも父母から聞くと「よう働かした。」といい、祖父も「今、なし山に植わっちゃう木は、じいちゃんが、植えたぞ。」と当時の様子を話してくれたりします。

僕は「昔は牛や人だけで山を開いたり、田畑を作ったり、つらかっただろうな」と思いました。今では、人は機械さえ使っ

ていけばよい時代で、僕もたまたま、なし山の草刈りを父にたのまれてやった時でも機械を使います。僕はつくづく「今の世の中は、機械の時代なんだ。」と思います。

でも暑い夏の日、田の草取りなどを見ていると、汗だくになって働いている父母や農家の人たちの苦勞が、しみじみ伝わってきます。僕は、楽をして農業をすることは、ほんとうの農業の姿ではない。いっしょうけんめい働いてやった農業、そこから得た食物は、なににも代えがたいものだと思います。



僕は、このような農業を父から受け継いで、世界で一番すばらしい果実や稲を作っていこうと考えています。

これからの人生は、ただもくもくとありのように働くことだけでなく、

頭を働かせ、体を働かせ、そして心を働かせて
せいいっぱい、力いっぱい、がんばろうと思います。



健康の窓

検査シリーズ 9

小便の色が黄色い

伊万里医師会

一尿が濃褐色になってくると泡が黄色に染ってきて、全身が黄色くなってきます。この状態を黄だんと呼び肝臓の病気によく見られます。

肝臓自体の異常のときに現れる黄だんと、肝臓でつくられた肝汁が通る道を閉ざされて起こるもの。そのほかに**溶**血が原因で起こる黄だんもあります。

肝臓内で造られたビリルビンという色素が血液の中にふえ、

体に沈着した状態が黄だんです。

肝臓自体の病気に肝炎があります。これはビールスが原因で、流行性肝炎(A型肝炎)、血清肝炎(B型肝炎)に分類されます。悪性腫瘍(ガン)も黄だんを起こすので50歳以上の原因不明の黄だんは要注意です。胆道閉塞性の場合には胆石症、胆のう炎、腫瘍などが考えられます。いずれにせよ目の白い部分が黄色に染っていることを確認して

診断がきまります。

検査は、自然光のもとで行う必要があります。蛍光灯下では注意しなければなりません。

皮ふが黄色くなるのにみかん黄だんがあります。

これはみかんの食べ過ぎが原因でカロチン色素の沈着で手足に現われ、目の白まなこが黄色くなりませんので区別できます。

黄だんがでる前には、疲れやすく体がだるく、食欲は減退し腹部がふくれ発熱などがあります。そのようなときは肝臓の検査を受けましょう。



◆まちの話題

きれいな町づくりに一役

佐賀相互銀行伊万里支店のみなさんは毎週金曜日、坂口交差点付近の道路を清掃されています。

伊万里支店には、9名の職員がいますが、半数の4,5名が交替で毎週金曜日の朝早出して、仕事が始まる前にごみ拾いなどをしています。

清掃を始めたきっかけは、市内で営業をしており、市民の方にお世話になっているから、なにか少しでもお役に立つことが

できればと始められたそうです。「朝の出勤時、ときどき見かけると、感心ね」と市民の声。



▲坂口交差点付近を清掃



あの人この人 No.24

伊万里の若アユ 森 淳子さん

8月28日県営プールで開かれた佐賀県水泳競技大会で、大坪小6年の森淳子さんが、50と100メートルの平泳ぎで優勝、最優秀選手賞に選ばれました。

淳子さんが水泳を始めたのは4歳で、全身運動の水泳で小児ぜん息を治すためでした。

着実に力を付けてきた淳子さんは、冬場は温水プールのある佐世保まで週5回、バス通って練習に励みました。

今回の優勝に「信じられない」

とお母さんも大喜び。

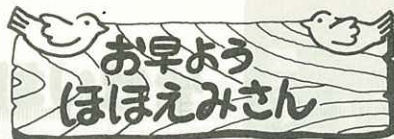
9月17、18日の九州大会でも一緒に参加した伊中1年の横尾洋君とともに大健闘でした。

指導に当たる吉原先生は「淳子君はきついいったことがないがんばり屋」、クラブでは「水泳を通してどんな困難も乗り越えられる人」と指導されています。

若アユ淳子ちゃんは、伊万里水泳界の希望の星となりそうです。



▲トロフィーを手にした淳子さん



立花町(富士町)
栗原里美さん

(S36年生)

早朝ジョギングの中で見つけた里美さん。毎朝国見台のトラックを15周(6km)しています。信用金庫の上司の勧めで始めたそうです。

<趣味> 休日はテニスコートへ

<今やりたい事> 字を習いたい

<理想の男性> 目的にまい進する意志の強い人。小麦色の顔に白い歯の笑顔がステキです。

今月の俳句・短歌

日かげれば竜胆^{りんどう}淡き弁を閉ず
木須町 溝口 ふく女
国技館の千秋楽を目のあたり

迫力覚え手を打鳴らす
松島町 光武 きり

※10月17日は貯蓄の日です。貯蓄について家庭で話し合ってみましょう。

(貯蓄のご相談は、貯蓄推進員の片岡和子さんまで ☎ ③ 0369)



いまり歴史散歩 その20

大川町川原の古窯跡

郷土研究会 池田達造

大川町川原には、古唐津松浦系と称されるいくつかの窯跡がある。梅坂、片草、畑田、作治郎、神谷、一若、焼山上・下等。

近年、樹園地、農地の開発により、市のたいせつな文化遺産が消滅している。

56年7月、古窯跡の中で比較的古い焼山下窯跡が、破壊寸前で急きょ市が発掘を行い、慶長12年(1607年)開窯以来、374年ぶりに窯の一部が姿を表わした。

その窯跡も市政の力も地主側との協議も及ばず壊されてしまったことは多大の損害である。

しかし窯の一部がわずかに残っているようで、その保存に努めなければならない。

享保4年(1719年)11月11日。

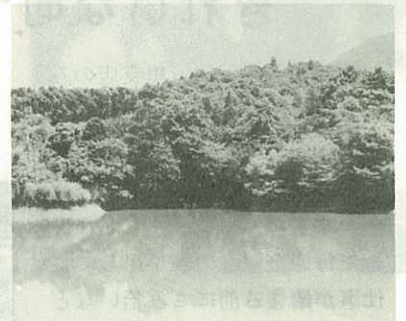
幕府老中井上河内の急な指令により椎峯中の焼物師を郡奉行に召集し、由緒の詮儀に対し、応答した内容の留書によれば、焼山上・下窯の開窯が、慶長12年(1607年)の説があり……

「高麗人、弥作、彦右エ門、又七、比三人の者共初而大川野組田代村にて五・七年限焼物竈立焼立申候、其の後同組川原村にて焼物竈立十年程も焼申候、其の後府招村内、椎の峯に引越申候、西本谷、善徳は享保年中、椎の峯より移る。片草、佐次郎は享保二十年開窯、尚、右高麗人、田代村、川原村居申候間は御茶碗は焼不候由申伝候。」とある。

① 梅坂窯 樹園地造成の折発



▲神谷窯・中央小屋の左付近



▲焼山上窯の下窯付近

見されたがブルトーズで破壊され、陶片すら見つからない。

② 佐次郎窯も同様である。

③ 片草窯は、池田元久氏屋敷裏の同氏所有の山林中にある。

④ 畑田窯は、池田和男氏の屋敷内にあつたと思われるが、確認されていない。

⑤ 神谷窯・一若窯は、小さな谷を隔てた位置にあり、共に黄唐津、青唐津、黒唐津、絵唐津(白、鼠、褐)たたき手(彫)などが焼かれている。

⑥ 焼山上・下窯は、神谷、一若窯と同じ物が焼かれたようだが、56年下窯の発掘では陶片のほとんどが緑色をした灰釉の碗(青唐津)と灰白色の絵唐津が多かった。

陶芸ブームの昨今、このように栄えた窯の煙も、夏草に埋もれて、その全ぼうがほとんどわからないので今後の保存、調査がまたれている。



▲発掘調査で窯の一部がわかった焼山下窯



▲ファーイ！ナシが山ほどあるぞ (9/9)
伊万里養護学校の生徒49人が南波多町の谷口幸水園で、招待ナシ狩りを楽しみました。



▲おじいちゃんのネクタイで交通安全音頭 (9/7)
市老人福祉大会でハッスルするお年寄り、老人の健康についての講演や体験発表などがありました。



▲大坪小に赤門が再建 (9/25)
百周年を記念して大坪小学校に旧校舎のシンボルだった赤門が再建されました。

いま伊万里で



▲いやー似てますなあ、どなたに？
市民会館での老人趣味の作品展に214点が出品、昔とったきねづかとはいえさがみごとな作品ばかりでした。



▲夏休みの作品を一堂に (9/17~20)
小中学校夏季作品展が玉屋で1600点の作品を展示して行われました。

▶チエさん百歳の笑顔 (9/11)
市内最高齢者「里町の山口チエさん」を竹内市長が訪問、百歳を祝って記念品を贈りました。





防火 コーナー

油断大敵天ぷら油

8月23日、松浦町で天ぷら油の過熱による火災で親子3名の尊い生命が失われましたが、天ぷら油による火災が毎年数件発生しています。

天ぷら鍋を使用しているとき

・短時間でもその場を離れない
・どうしても離れなければならない用事があるときは、コンロの火を消して離れること。

天ぷら鍋に火が入ったら

・あわてて水をかけたり、天ぷら鍋を転倒させたりしないで、確実にコンロの栓を止めて手近な消火用具で消火しましょう。

・消火器などが無いときは、ぬれた布、鍋ふた、座布団、生野菜などでも初期消火はできます。

これらは、あくまで初期消火であり、もし消火できない場合は近所に大声で知らせ「早く119番へ通報」しましょう。

藤井・山口さんがお手柄

消防署は、9月9日二里町福母の藤井正美さん(52歳)と、山口須直さん(43歳)を消火協力者として表彰しました。

藤井さんは、8月13日午後9時ごろ自家用車で帰宅中出火を発見、自動車のクラクションと大声で火災を知らせ、かけつけた山口さんと協力し初期消火をしたものです。



▲右から藤井さんと山口さん

防火ポスターを募集

小・中学生を対象に火災予防ポスターを募集します。

- ▲締切日 10月31日まで
- ▲内容 小学生…8ツ切画用紙
中学生…4
- ▲提出先 伊万里消防本部
- ※ポスターには「秋の全国火災予防運動」や58年度の統一標語を入れること。

16日にスケッチ大会

市防火協会は、小学生を対象に消防スケッチ大会を開きます。

- ▲とき 10月16日(日)9～12時
- ▲ところ 消防本部訓練場
- ※画用紙は協会にて用意します。

危険物取扱者試験

昭和58年度第2回危険物取扱者試験が実施されます。

- ▲試験の種類 甲種・乙種・丙種
- ▲日時 11月20日(日)午前9時
- ▲願書受付期間 10月11日～17日
- ▲申込先 佐賀県消防防災課
(〒840佐賀市城内1丁目1番59号)
- ▲問い合わせ先 伊万里市消防本部予防課危険物係(☎③4311)

美しい「あいさつ」

最近各地で「あいさつ運動」が提唱されています。私たち一人ひとりがお互いに心から「あいさつ」を交すことによって心と心がしっかりと結び合っていきます。

あいさつとは両者が「心を開いて相手に迫る」ことです。

「あいさつ」ができないことはお互いの心が通じ合わないことでありたいへん寂しいことだと思います。

同和教育は、お互いが人権を平等に認め合い、部落問題を解消し、明かるく心豊かな町づくりを目指しているのです。

鈴木健二さんの「気くばりのすず

め」に、外国の方が「日本人のおじぎは素敵ですね。」と、よく言われるとありますが、それは日本の一部の方ではないだろうかと思えます。国際婦人年に75か国からの女性が日本に集まり討論会があったのですが、ホテルから会場へバスで行かれるとき、各国代表が司会の鈴木さんへ、それぞれの国のことばで「おはよう」を言われたそうです。そこへ、とても愉快的なエジプト代表が、日本語で、「おはようございます。」と、頭を下げられたのですが、他の外国の人が「あなたは女性だから、もっと低く頭を下げ

同和教育シリーズ No.32

ないといけないう、日本の女性は男性よりも深く頭を下げるのよ、とてもきれいな形で…」と言われたそうです。「女性は男性よりも深く頭を下げる。」これが日本女性の美しさだったのか、と、鈴木さんは今まで気づかなかったことに気づいたということです。

「男だ、女だ」ということでなく、相手を大事にするということはとても美しいことであり、自分を大事にしてもらうことにも通じます。

人権尊重を基盤とした部落差別解消への大きな手がかりにしたいものだと思います。

休暇センター22日オープン



▲明星桜の陶壁画（12.5×8メートル）

10月22日にオープンする佐賀厚生年金休暇センターは、娯楽施設など見どころがいっぱい。

ロクロ10台による陶芸教室やナイトテニスコート、ゲートボール場、フィールドアスレチック、日本庭園や散策路…。

本館は、大浴室、身障者浴室、体育館もシャワー室を完備。

申込みは、センター③ 1001番へ

合同相談所

市民のみなさんの悩みや苦情などについて専門の係員が相談に応じ解決を図る合同相談所を開設します。お気軽においでください。

▲日時 10月20日(木)10時～15時

▲場所 市役所4階大会議室

▲相談担当 佐賀行政監察局

佐賀地方法務局伊万里支局、行政相談委員、人権擁護委員、弁護士、市民相談室。

学園高校教育講演会

伊万里学園高等学校は、「思春期の子どもを持つ親へのアドバイス」をテーマに教育講演会を開催しています。

今回はその3回目「思春期と生徒理解」という演題です。

▲日時 10月9日(日)11時～12時半

▲場所 市民会館大ホール

▲講師

長崎大学 水田善次郎教授

※小・中・高校生を持つ父母のみなさんの聴講をお願いします。

作業環境の改善と

健康づくりを

「作業環境の改善と健康づくりで明るい職場」をスローガンとして、作業管理、健康管理の一層の推進を図り職業性疾病的予防に万全を期するとともに、高令化社会の進行に対応した中高年労働者の健康づくり対策が全国の事業場で展開されます。

この機会に自分の事業場、働く職場の労働衛生を見直してみましよう。

電波障害一掃月間

テレビ、ラジオが受信障害で困っていませんか。

◇画面が2重、3重になる

◇画面が点々状になり見えにくい

◇画面が縞模様になったり、音声に人の声が聞こえる

こんな時の相談は……電波障害防止協議会へ。

※事務局 NHK佐賀放送局内 (☎ 0952 24-6151)

社交ダンス会員募集

伊万里社交ダンス愛好会「ダックス」(会長 浜田圭吾)は一周年を記念し、11月にパーティを計画するとともに新規会員の入会を呼びかけています。

▲練習日 毎週月、金曜の2回 午後19:30～22:00

▲練習場 本町3丁目笠木方

▲会費 月額3,000円

▲指導 井上敏義 (元県社会舞踊教師協会長)

※入会希望者は、上土井町の藤田薬局内の事務局(☎② 2015)へご連絡ください。

青年海外協力隊 秋の募集説明会

▲日時と会場

11月2日(水) 18時～21時

唐津市文化会館(☎ 09557(2)8278)

11月4日(金) 18時～21時

佐賀青年会館 (☎ 0952 ③ 2382)

▲資格 満20～35歳の青年男女

▲派遣地域 アジア、アフリカ 中近東、中南米など26か国

▲問合せ先 (☎ 092-451-3380)

国際協力事業団九州支部



色えんぴつ

今回の取材で市民スポーツの盛んなことに驚きました。紙面の都合で、夏季県体の25歳平泳ぎに優勝した68歳の古賀竹一さんの活躍など掲載できず残念です。

みなさんの周りにユニークな活動をされている方をご存知でしたら広報係へご一報ください。

子供のページに募集していたイラストが2枚届きました。来月号に掲載の予定です。みんなの声を載せ、もっと楽しい紙面を作りたいと思っています。

市民のあしの変遷

▶第3部特選になった坂本さんの作品



市統計グラフコンクール発表 特選に高田君・吉武君・坂本さん



高田文和 くん

虫がふえないように
かいたの。特選に入っ
びっくりした。まんがを
かくのが得意。

理科が得意で読み物が
好き。昨年が入選だった
けど、ヤッター今年は特
選だ。



吉武正憲 くん



坂本ひとみさん

特選に入るなんて夢に
も思わなかった。グラフ
では地図がむづかしかつ
た。デザインは大好き。
将来は先生になりたい。

市統計グラフコンクールは、
小・中学生から昨年と同じ116
点の応募があり、9月7日、市
役所で審査が行われました。

特選に家族の函みがきをグラ
フにした高田文和君の「がんば
れ夜のはみがき」、市立図書館
の利用状況を調べた吉武正憲君
の「利用してますか図書館」、
国鉄利用者の減少と自動車の増
加を表わした坂本ひとみさんの
「市民の足の変せん」の三点が
選ばれました。

入選以上の36点を県のコンク
ールへ出品し、7点が入賞しま
した。作品は10月20日から27日
まで伊万里玉屋に展示します。
準特選以上と学校賞は、次の
とおりです。(敬称略)

(学校賞は、滝野、黒川中学校・山代東、波多川小学校)

- 〔第1部〕 小学校1～3年
特選 高田文和(波多川小2年)
準特選 吉武美樹(山代東小3年)
(合作) 田中香織
" 吉野幸喜(波多川小2年)
" 森やすき(大坪小3年)
- 〔第2部〕 小学校4年以上
特選 吉武正憲(黒川小5年)
準特選 吉武正樹(" 6年)
" 関 真紀(二里小5年)
" 松尾淳也(大坪小6年)
" 松尾幸始(")
" 河上 剛(")
- 〔第3部〕 中学校
特選 坂本ひとみ(黒川中3年)
準特選 山口香織(")
" 谷口由美子(")
" 西田順次(滝野中3年)



マラソン父さん

伊万里小4年 鈴木智子さん



▲お父さんは走ろう会の会長さん

うちのお父さんは、かんばん
屋です。「ただいま。」と入っていくと
いそがしそうに、「おかえり。」と言います。
おふろにいっしょに入る時は
「今日のお勉強は、なんでした
か。」とききます。そして、せ
なかをこすってくれます。
お父さんは、毎日10キロ走り

ます。帰ってきたときは、あせ
だらだらで雨にぬれたようにし
ています。絵もじょうずです。まえにい
っしょに絵をかきに行ったとき
けしきを見ながらよく手が動い
て、まるで絵かきさんみたいで
した。こんなお父さんが大好き。

みんなの胸に赤い羽根……10月1日から共同募金が始まります。